

2022年5月号

あゆみ学園だより

福岡市社会福祉事業団
福岡市立あゆみ学園

早いもので、新年度の療育がスタートして1か月が過ぎました。青空の下、戸外遊びが楽しい季節になり子どもたちも園庭やベランダで過ごす機会が増えたようです。少し緊張気味だった4月よりも、笑顔と併せてかわいい声が聞こえてくるようになりました。新しい部屋や先生にも慣れてきた証拠ですね。さて、今月は、ぞう・りす・きりん・ぱんだグループは遠足を予定しています。いろんな行事が中止・縮小される期間が続いて、園でも久しぶりの遠足です。職員も今からワクワクしています。感染対策など気を付けることは変わりませんが、少しの時間グループのお友達といつもと違った雰囲気を楽しみましょう。中旬からは個別面談も予定されています。保護者と担当が、子どもたちの様子や変化を共有し、支援について話し合う時間です。保護者の皆様の思いを聴かせていただき、目標設定・支援を行いたいと思っています。

副園長 松元 美智子

行事予定

6	金	春の遠足（ぞう・きりん）	19	木	個別面談日（ひよこ）
10	火	学習会「福祉制度」（うさぎ）	20	金	学習会「福祉用具」 （うさぎ・ぱんだ・きりん）
11	水	学習会「福祉制度」（ひよこ）	23	月	個別面談日（りす・ぞう・きりん）
12	木	学習会「福祉制度」（ひよこ）	24	火	個別面談日（ぱんだ）
13	金	春の遠足（りす・ぱんだ） 個別面談日（うさぎ）	27	金	保護者会 グループ懇談（りす・ぞう）
17	火	避難訓練（総合訓練）	31	火	歯磨き指導
18	水	個別面談日（ひよこ）			

新型コロナウイルス感染流行の第6波の中で 小児科医 宮崎千明

★新型コロナウイルス感染者が世界で5億人を超え、福岡市でも13万人を突破し、市民の10%近くが感染しており、20歳未満の割合が大きくなってます。オミクロン株の感染では、潜伏期が2-3日と短い、熱が出る、喉の症状が強い、肺炎は少ないなどが観察されています。

★高齢者ではワクチンの3回接種済みが高率になりましたが、若年層ではまだまだ接種率が十分でなく感染の広がりが見られます。5歳~11歳もワクチン接種が可能になっていますが、接種する有効成分は成人の3分の1量です。日本小児科学会は基礎疾患のある小児に対して接種を推奨しています。

★家庭内、職場、飲食店、カラオケなどが感染のリスク因子になりますので、3密回避、マスク、手洗い、手指消毒、換気が重要です。

★福岡市も感染再拡大の正念場を迎えています。社会活動を維持するために濃厚接触者などの待機時間が短縮されていますが当園では職員に定期的な抗原検査など感染対策を継続しています。

★登園前の検温、体調管理、家族の感染状況の報告など、皆様のご協力をお願いいたします。

